



North Karuzawa's snow—soft as condensed milk, fading into silence.
水平方向に暮らしが展開する日本文化を眺める書斎



南からの柔らかな照射が、空間をゆっくりと熟れさせていく
Bathed in soft southern light, the space quietly ripens
over time.



日本人も垂直に暮らされる
North Karuzawa's snow—soft as condensed milk,
fading into silence.

北軽井沢の雪—soft as condensed milk, fading into silence.
垂直方向に暮らしが展開する海外文化

STRAWBERRY HOUSE

Concept ARC style Kita-Karuzawa Japan

いちごは言葉の知らない世界共通語のような果物。
[甘い、かわいい、真っ赤—そんな感覚が、どこかで繋がっています。]
糊乳のように甘く、溶けてしまいうるものなかで、ほんのり色づく「Strawberry House」。

無理に何かを合わせなくてもかまいません。
北軽井沢の自然、そしていちごの空間の中で、
皆さんの文化の良さ、日本の文化の良さに自然と気づいていってください。

いちごの中で、深く冷たい空気を吸い込むと、ほんのり、世界が甘く感じるかもしれません。
そんなみずみずしい北軽井沢をずっと大切にしていきたい。



Form
大きな葉の緑が小さな苺の一粒を引き立たせるように、...。遊牧地となる夏は、雄大な「北軽井沢」の緑が、
一枚の「Strawberry House」を際立たせる。人が暮らす冬は、
まるで糊乳をかけられた苺のようにそこに顔たわり、
観る者に日本の冬の美しさを気づかせてくれる。

Site

北軽井沢は標高 1,000 ~ 1,400m と軽井沢より高い位置にある。そのため、軽井沢よりも涼しく、かつ物件価格が半分以下であるため、外国人人気が高まっているのだろう。ただそれによって北軽井沢の豊かな自然や暮らしを損なわせることは許されない。



夏の避暑地として魅力溢れる北軽井沢だが、住む場所として冬の魅力も十分に惹きだしなから、自然との調和を目指したい。



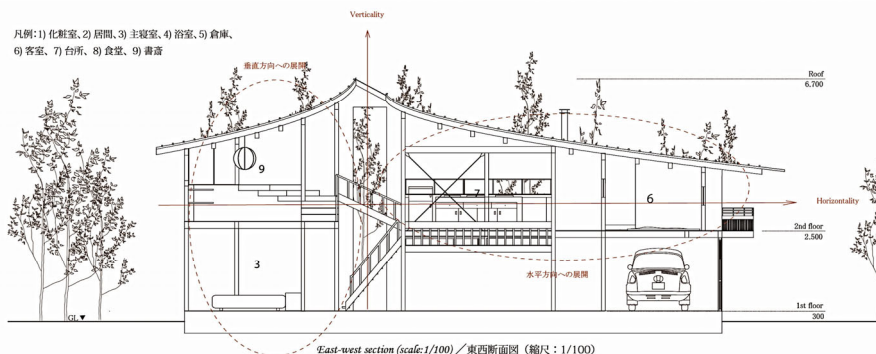
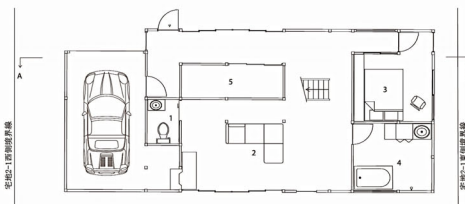
冬の集客のために、美しい高地の世界で毎年開催されている「炎まつり」のように、北軽井沢の自然を惹き立てる建築。



北軽井沢ブランド「やよいひめ」のような真っ赤な苺にまるで糊乳がかけられたような建築が点在して、真白な雪景色に溶け込む。



世界共通語のような果物は、夏のみずみずしい緑とコントラストも素晴らしい。これが「Strawberry House」である。



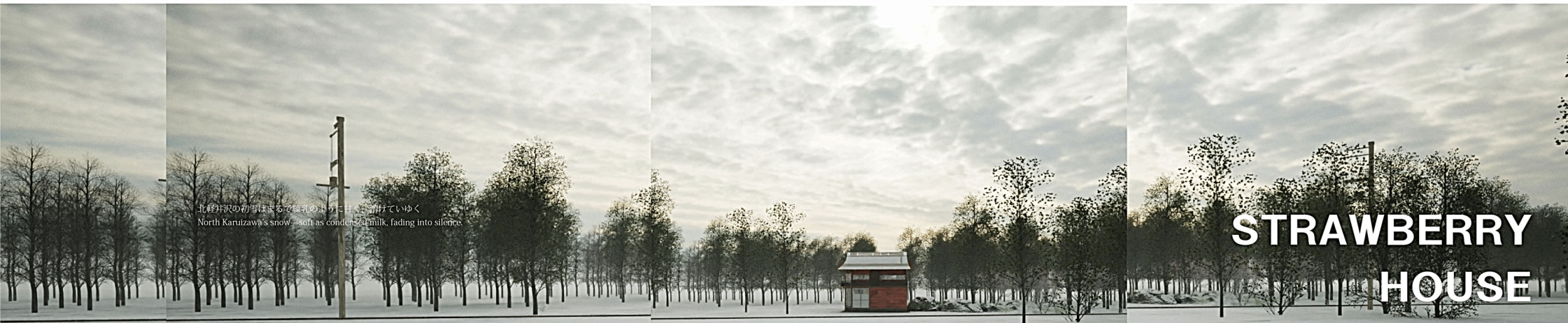
凡例: 1) 化粧室、2) 廊間、3) 主寝室、4) 浴室、5) 倉庫、6) 客室、7) 台所、8) 食堂、9) 書斎

Layout

「Strawberry House」は日本における新しい外国人の家のスタイルを見せてくれる。それは日本人用の客室 (6) を備えることだ。この苺を選んだ外国人は、日本人をいつでも迎え入れるという懐を持。朝の繊細な光が異文化が食卓を囲む食堂 (8) へ、現地の南からの柔らかな照射が異文化が集う廊間 (2) へ射し込んでくる。

Section

一粒の苺の中で、異文化を無理なく織り交ぜてゆく。海外の垂直方向への精神意識に基づいて、玄関→主寝室 (3) 食堂 (8) →書斎 (9) へと垂直方向に暮らしを展開する。それに対して我が国の水平方向への精神意識に基づいて、書斎→食堂→客室 (6) へと水平方向に暮らしを展開する。異文化がひとつの空間にあることで、お互いが無理に合わせることなく、それぞれの精神性を体感していくのである。



北軽井沢の初雪はまるで糊乳のように日本に溶けていく
North Karuzawa's snow—soft as condensed milk, fading into silence.

STRAWBERRY HOUSE